

**生命環境科学研究科 獣医学専攻（博士課程）**  
**研究指導教員の決定と研究指導の方法**

**1. 研究指導教員の役割**

- 1) 研究指導教員は、学生の希望する研究課題、指導教員の専門分野、指導環境などを考慮し、学生の同意を得た上で研究課題を決定し、研究指導を行う。
- 2) 研究指導教員は、研究指導とともに、授業科目の履修相談及び学位論文に対する指導を行う。
- 3) 研究指導教員は、学生ごとに1名を定める。

**2. 研究指導教員の決定プロセス**

- 1) 学生は、事前に希望する教員への研究室訪問や面談等を経た上で、大学院入試の出願時に、指導を希望する教員を申し出る。
- 2) 入試時の面談及び学生が作成した研究計画書をもとに、専攻教授会において研究指導教員を決定する。
- 3) 原則、入学までに指導教員を決定する。

**3. 研究指導の方法**

- 1) 研究計画の立案（1年次4月～6月、ただし時期は目安とする）
  - ① 学生は、研究課題に関して先行研究の整理、仮説の設定等を行い、研究計画を立案する。
  - ② 研究指導教員は、学生が研究計画を立案するに当たって、適切な指導及び助言を行う。
  - ③ 学生と研究指導教員は、協議のうえ研究指導計画書を作成し、研究科長へ提出する。
- 2) 研究の遂行
  - ① 学生は、研究計画に従って研究を遂行する。1年次には、主に研究方法の確立、予備実験、調査などを行い、研究課題に取り組む。2年次以降には、1年次に引き続き研究課題に取り組み、データの収集・解析等を行い、研究結果をまとめる。
  - ② 指導教員は、研究の進行を確認しつつ、実験・調査等の手技の指導やデータの解析の指導を行い、研究結果をまとめさせる。
- 3) 研究経過の中間報告（3年次以降の適当な時期）

学生は研究経過の中間報告を行う。
- 4) 論文投稿および学会発表（随時）
  - ① 学生は、研究成果について学術誌への論文投稿や学会での発表を行う。
  - ② 研究指導教員は、投稿論文のまとめ方、学会発表の方法等について指導する。
- 5) 博士論文の作成（4年次10月以降）
  - ① 学生は、これまでの研究成果をもとに博士論文の作成を開始し、指導教員のもとで博士論文をまとめる。
  - ② 指導教員は、博士論文の構成や図表の作成、文献の整理・引用等、論文のまとめ方を指導する。
- 6) 博士論文の提出・発表（4年次12月中旬～2月）

学生は博士論文の一次審査に合格した後、指定された期日までに博士論文を提出し、公開の発表会で論文の内容を発表し、質疑応答する。
- 7) 研究指導報告書の提出（4年次2月）

研究指導教員は、研究指導報告書を作成し、研究科長に提出する。

ただし、秋入学の学生に対しても、春入学の学生に準じた日程で研究指導を行うものとする。